

友達が増える！ 人付き合いのマナー

- ① **こそこそ話をしない。**（たとえ、いいことを言っているつもりでも感じが悪いと受け止められることが多い。）
- ② **机、イスをはなさない。**（きらっているのかとまちがわれる。また、つうろがせまくなり、人が通りにくい。）
- ③ **手紙のやりとりをしない。**（仲間に入れない子がさみしい思いになる。感じが悪い空気が流れる。）
- ④ **人に注意はあまりしない。するとしてもやさしく小さな声でする。**
（人は、よく注意する人をきらいになりやすい。特に大きな声でいうとケンカになりやすい。）
- ⑤ **マイナス言葉はとにかく使わない。プラス言葉をたくさんいおう。**
（空気がおもくなる。マイナス言葉を使えば使うほど、友達がへっていく。聞いていてうんざりする。）
- ⑥ **話や遊びをしている友だちに急にわりこまない。**（じゅん番を守る。相手を大切にしていない。）
- ⑦ **人の話をすぐに「ひてい」しない。**（「無理」「できるわけない。」という言葉を一いきなりつかわない。）
- ⑧ **自まんはなるべくしない。**（出来ない子は落ち込む。「えらそうな人で嫌だなあ」と思われる。）
- ⑨ **ことわる時は「ごめんね」か「また今度しようね」をいれる。**（やわらかく人とせつする。）
- ⑩ **うわさ話はしない。人の悪口や欠点は、他の人にはいわない。**
（この人に本当のことをいうと、「ばらされるから言うのをやめよう。他の人に自分の悪口をいっているのではないか」と不安になる。そして友だちでいるのが心配になる。友達の信用を失うかくりつが一番高いのがこれ。）
- ⑪ **友だちを待たせない。待たせているとわかったらいそぐ。**
（列に並ぶ、早く着替える。すばやく静かに行動する。おそい人がいるとみんなの待ち時間が多くなる。嫌がられる。）
- ⑫ **友達の失敗にはやさしくしよう。**（誰でも失敗します。おおめにみましょう。優しい人に人は集る。）
- ⑬ **相手の顔をみてしっかりと話を聞こう。うなずいて話を聞こう。**
（体を横に向けて聞いたり、手をぐじぐじしたりして人の話を聞くと、面白くないのだと相手に思わせる。感じが悪いあと相手に思わせる。話をしてもちゃんと聞いてくれないからこの人と話をするのはやめておこうとなっていく。）
- ⑭ **公事(おおやけごと)と私事(わたくしごと)は、公(おおやけごと)を優先しよう！**
（みんなで何かをする時に自分のやることが重なった時は、みんなでやることを優先しよう。例えば、帰りのあいさつをするときに、帰る用意ができていなくても先にあいさつをしましょう。友だちを待たせません。自分よりみんな。）
- ⑮ **自分の話ばかりしない。あまり話をしていない人に話をふろう。(話題ゆずり)**
（グループで話す時、話をしていない人に話をふって話すきかいをあげてください。友だちがうれしくなります。仲間を大切にしています。優しい人です。）

優しい人になってください。信頼される人になってください。

補足 ②番は感染症が流行っているときは、いれない。机、イスを離して学習するのが当たり前の環境なので。